

事業所名

キッズスタジオ オリーブの木

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

12月

1日

法人（事業所）理念	みんなが「笑顔」になれる場所。「あそぶ」ように「まなび」できない時は「一緒に」ゆっくり。一步一步進んでいきましょう。		
支援方針	笑顔が溢れる場所。一人ひとりに寄り添います。学習支援をはじめ、アート療育・食育・運動療育・自然体験療育・キャリア療育を通じて、子どもたちの能力やスキルを育成する「総合療育」です。		
営業時間	①平日 ②土・祝・長期休 職	①13時 ②9時	①19時 ②18時
	0分	0分	0分
	送迎実施の有無	○ なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	手洗い、荷物の整理・管理、体温調整(衣服)、水分補給、トイレトレーニングなど生活面で必要なスキルが身につくように視覚支援を入れながら慣れるまで支援員と一緒に行う。ルーティーンを作り、自分の力で取り組めるようにする。食育としてフードコーディネーター1級や調理師の資格を持つ専門講師等が子ども達とクッキングを計画し合い、必要な栄養素が摂取できるように工夫する。専門医と連携を図り、分子栄養学を取り入れ特性の改善を行う。	
	運動・感覚	体幹トレーニング 姿勢に関する機能、重心に関する機能、四肢を巧みに使う感覚機能を高めるように専門講師がサーキット遊びを行う。音楽に合わせてダンスや段階に応じてミュージカル「演技」「セリフ」など身体表現につながるプログラムも行う。外部講師(理学療法士)にインソールを作成(希望者のみ)してもらい、身体の軸を整える。様々な動作をするために体をどのように使ったらよいか個別でアプローチしながら疲れにくい体作りを目指します。登山、ウォーキング、スポーツ大会などイベントを行い身体を動かすことの楽しさを取得し、基礎体力の向上、生きる力、自己肯定感を育む。脳トレーニングでは、視覚、聴覚、触覚等の感覚統合遊びを行います。ワーキングメモリ、短期記憶力を高めるトレーニングを遊びを通して行う。	
	認知・行動	ソーシャルスキルトレーニングを行う。テキスト、映像などを活用し視覚的支援を行いながら日常の色々な場面を設定し、場面に応じた対応をグループ討論を通して考える、学ぶ場を提供する。学んだことを意識して実践できるように共同遊びを行う。また、様々な行動を試し、達成感のある活動を提供する。活動に入る前に子どもに対してスケジュールの確認として、日付・時間等を質問し、時刻の概念の習慣を図る。また、色分けされた玩具、教材、ブロック等を使って、数の概念と空間の習得を促す。音楽療法を通して、脳神経を調節する、聴覚を活用する発達を促す。	
	言語コミュニケーション	共同遊びや様々なイベント活動の中に、参加する子どもと目標を決め、ルール設定、役割・担当決めなどを話し合いの場を設ける。自分の意見、気持ちを伝えたり、言語化に困り感のある子どもは指差し、選択できるように絵カードを活用して合理的配慮を行う。言葉でのやり取りを大切に、支援者が近くで見守り、必要に応じて仲介し円滑なコミュニケーションを習得できるようにサポートする。SSTなども行う。また1日のプログラムの中に学習支援を行い、個々の課題、困り感を専門講師が分析し、課題を克服できるように支援する。脳トレーニングでは、眼球トレーニング、短文の音読など取り入れ、読み書きの抵抗感を緩和させる。読み聞かせを行い、物語について考えや感想を発表する場を設ける。想像する力、聞く力、読解力を育む。	
	人間関係社会性	支援員が介入しながら集団参加を支援する。SSTを通じて、対人関係の発達を支援する。楽しめる遊び、プログラムにより人間関係の発達を促す。公共施設、公共交通機関などでのマナーを学ぶ機会も設け社会性を身につける。地域交流の場も設けていく。主な活動「音楽発表会」「クッキング」「農業体験」「ワンデイダイニング」「子ども食堂」「お食事会」「キャンプ」等。	
家族支援	活動で経験したことや出来事を家庭でもフィードバックできるように子どもの様子、活動内容を伝える。写真や動画を添え、視覚的に伝え、子どもが取り組み姿、表情などが保護者にも伝わり、ご家庭で振り返りができるようにする。場面に応じた対応方法や成功例(子どもが上手くできた時の状態、きっかけ、方法)を可能な限り情報共有する。家族からの相談に適切な助言を行う。	移行支援	必要に応じて利用者さんが通われている学校と日常的な連携に加え、行事等の際には、説明の方法や促し方、関わりについて共有を図る。関係機関と連携を図れるように事業所での様子、これまでの成長過程をまとめていつでも提示できるようにする。
地域支援・地域連携	関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案する。連携会議、担当者会議などがあれば出席し、情報提供し、具体的な場面での本児との関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行う。	職員の質の向上	新入職員研修、スキルアップ研修、法定研修、防災に関する研修、虐待防止委員研修、感染症対策研修、身体拘束に関する研修、ケース会議、検討会議、月1回職員全体会議、外部講師(専門医、音楽療法士、理学療法士、救急救命士等)によるセミナー。
主な行事等	アウトドア活動 魚釣り、船釣り、登山、ウォーキング、オーガニック農業、デイキャンプなどの体験活動。1年に1回 1泊2日のキャンプ(合宿)。アート、工作、美術鑑賞、クッキング、社会見学、平和学習、職業体験、音楽発表会、レガールミュージックフェスティバル 等 お花見、夏祭り、野外プール、ハロウィーンパーティー、クリスマス会等の季節行事。		